



ミライ企業図鑑

2019





06

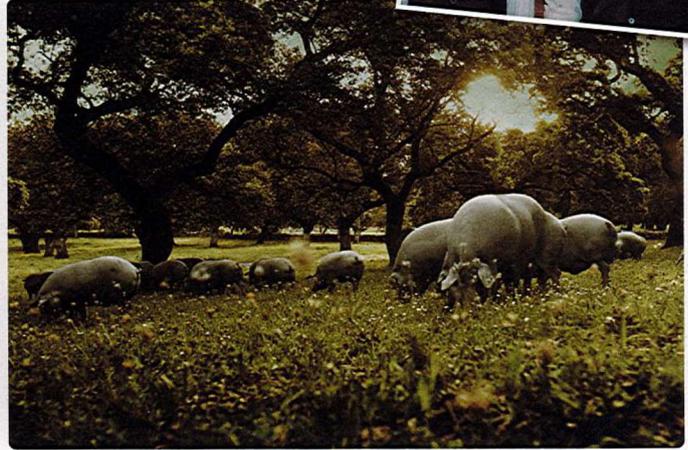
スペイン南部で伝統的に飼育されてきたイベリコ豚を輸入し、関西・関東でイベリコ豚専門の外食事業、通販や惣菜事業などを展開している「タイシコーポレーション」(大阪市西成区)。イベリコ豚が住む森を守るため、スペインで植樹活動NO.1企業になることを目指し、毎年植樹活動にも取り組んでいる。



タイシコーポレーション株式会社

大阪

食



大切なことは、 人としてどうあるべきか

取締役部長
2007年7月入社
松下 博昭さん

大学卒業後に最初に就いた職は製造業の営業でした。高収入でしたがやりがいを感じられず、飲食業界に転職。飲食を選んだのは、大学時代に経験したアルバイトのうち飲食がいちばん楽しかったことと、将来独立して店を持ちたいと思ったからです。和食の店で経験を積み、ある程度仕事を覚えた頃、知人に当社を紹介され、「料理人としてスキルアップができそうだ」と感じて入社しました。入社後は、いちばんの繁盛店だった焼き肉屋(注:今はイベリコ豚専門だが当時は焼き肉屋を経営)店長をはじめ、数々の店の立ち上げと店長を経験。閉店したり社員が辞めたりと、いろいろなことがある度に社長と本気でぶつかってきました。社長は、自分の過ちを素直に認め、社員に頭を下げられる人。僕がここで今も働いている理由は、その人柄に惚れているからだと思っています。

僕自身はもともと、18歳の時に日本の戦時中に興味を持って鹿児島県の知覧飛行場跡を訪ねたり、大学時代はバックパックを背負ってラオスやカンボジアなどを放浪したりするような若者でした。歴史や他国の状況を考えて時、今日生きていられるのは当たり前なことではなく、一生懸命生きることがこの世に生を受けたお返しになるという考えが、僕の仕事観のベースにあります。若い人たちには、「安定しているから」「有名だから」で就職先を選ぶのではなく、人の役に立つ人間になってほしい。最終的に「人としてどうあるべきか」以外、どうだっていいのですから。

「仕事=しんどい」という イメージが変わった

IBERICO-YA心斎橋店店長
2016年4月入社
佐藤 祐美さん



外国語を勉強することが好きで、大学は外国語大学へ進学、スペイン語を専攻し、スペインに半年間留学もしました。就職活動はサービス業でスペインに関わる仕事を探していたところ、求人サイトで当社を知り、説明会に参加。その説明会がとても楽しく、社員の方が質問に丁寧に答えてくれたことや、研修に力を入れている点に惹かれて入社しました。

入社後は店舗勤務で、接客、キッチン手伝い、仕入れ業者とのやりとりやアルバイトのシフト作成など、店舗経営に必要なことをひと通り経験させてもらっています。また、ワインのソムリエになるべく学校にも通わせてもらっています。記念日や接待で来店くださったお客さまが「ここを選んで良かった」とおっしゃってくださった時は非常にやりがいを感じますし、普段会えないようなお客さまと話す機会が多いのも、当社で働く魅力です。また、入社以来ずっと松下の指導を受けていますが、おかげで働くことに対する価値観も変わりました。学生時代は「仕事=しんどいもの」というイメージしかなかったのですが、「楽しくなるように自分からアクションを起こしていけばいい」と思うようになり、実際、楽しさもわかってきました。

2018年1月から店長になり、責任がぐっと増え、指導する立場の大変さを痛感しています。当面の目標は、後輩やアルバイトの人たちに「ここで働いて良かった」と思ってもらえるような店長になること。また、イベリコ豚の貿易事業がスタートしたらぜひ携わりたいと思っています。

代表
インタビューは
こちら



代表
山本 真三さん

イベリコ豚を世界に広げ、
環境問題解決NO.1企業へ



所在地 〒557-0011 大阪市西成区天下茶屋東2-13-29
電話番号 06-6656-3116
従業員数 29名(※パート・アルバイトを含む)
平均年齢 27歳(※パート・アルバイトを含む)
URL <https://www.iberico-ya.com/>
事業内容 貿易事業、ネット通販事業、牧場事業、飲食事業